

「新たな知の地平を拓く」
京都大学 附置研究所・センター
22 Research Institutes and Centers
Kyoto University

報告書

京都大学 附置研究所・センターシンポジウム

京都からの提言

21世紀の日本を考える(第5回)

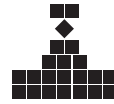


グローバル社会に生きる ― 未来を見据える目 ―

日時：2010年3月13日(土) 10:00～17:15

場所：アクロス福岡

主催：京都大学 附置研究所・センター 後援：読売新聞社・(財)京都大学教育研究振興財団



「新たな知の地平を拓く」
京都大学 附置研究所・センター
22 Research Institutes and Centers
Kyoto University



京都大学 附置研究所・センターシンポジウム
京都からの提言—21世紀の日本を考える(第5回)

報告書

グローバル社会に生きる—未来を見据える目—



まえがき

京都大学の22の附置研究所・センターは、第5回京都大学附置研究所・センターシンポジウム「京都からの提言—21世紀の日本を考える」を平成22年3月13日（土）に、福岡市・アクロス福岡にて開催しました。本報告書は、本シンポジウムの記録をまとめたものです。

今回は、「グローバル社会に生きる—未来を見据える目—」をサブテーマに取り上げました。私たちの日々の生活でもグローバル化が実感されるようになってきています。それは負の側面を包含する危険性をもちながらも、ますます便利で効率的な社会生活をもたらしています。一方、グローバル化の進展とともに、対極である「ローカル」で表される多様な社会や文化、さらには生態系との関わりを真剣に考えねばならない状況が生まれています。このような「グローバル社会」に生きるためには、未来を見据える目を持つことが求められています。科学の営みは、このような未知の領域や人類にとっての新しい挑戦に、さまざまな視点から光を当て、未来を見据える目を養うことに寄与することでもあります。このような視点から、様々な分野から5つの講演が行われ、最新の研究成果がわかりやすく紹介されました。

講演プログラムに引き続いて、「地方から日本（世界）を変える」というテーマのもとにパネルディスカッションが行われました。視点を地球から、地域に移して、グローバル社会に併存すべきローカルな視点と挑戦力の重要性について、特に地元九州の地域性も踏まえて活発な討論が行われました。

京都から遠く離れた地での開催にもかかわらず、約450名の参加を得ました。15歳から92歳と幅広い年代からの参加がありました。聴講の皆様からは、「京大教授の方々の講演を福岡で聴講させて頂けるなんて!」、「京大に入りたいという気持ちが深まりました。来年医学部に入ってお訪ねしたいと思います」、「講演要旨だけでなく、レジュメくらいは用意してもいいのではないか」、「周知方法がまずい。申込み締め切り後に知った」等々、概ね好評のご意見をいただき、多くの方々に大学の研究が人々の生活や地域社会に貢献していることを知っていただく機会が提供できたと考えます。

今回のシンポジウム開催にあたり、総長裁量経費、京都大学教育研究振興財団、読売新聞大阪本社、ならびに各附置研究所・センターに財政面等いろいろとご支援いただきました。厚く御礼申し上げます。また、本シンポジウムを盛り上げていただきました参加者の皆様、また、講演者、パネリスト、コーディネーターの皆様に感謝申し上げます。さらに、運営にあたり、多大なご尽力をいただいた読売新聞大阪本社ならびに西部本社の皆様、附置研究所・センターの関係教職員の皆様に感謝申し上げます。

ここに、第5回のシンポジウムの成果を報告いたしますとともに、本シンポジウムは、今後も全国主要都市で年1回開催して参りますので、引続きご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

京都大学 化学研究所長	時任宣博
京都大学 防災研究所長	岡田憲夫
京都大学 エネルギー理工学研究所長	尾形幸生
京都大学 生存圏研究所前所長	川井秀一

目 次

まえがき

開会挨拶	京都大学総長 松本 紘	1
	京都大学副学長・研究担当理事 吉川 潔	3
講演 1	地球社会の変動と複合する災害	5
	防災研究所教授 寶 馨	
講演 2	日本の伝統文化から地球環境問題の未来を考える	21
	こころの未来研究センター教授 カール・ベッカー	
講演 3	地球の体温、私の体温	31
	化学研究所教授 梅田 真郷	
講演 4	都市と地域経済：空間経済学の視点から	45
	経済研究所教授 森 知也	
講演 5	海の生物を調べつくす挑戦	59
	フィールド科学教育研究センター長・教授 白山 義久	
パネルディスカッション		
地方から日本(世界)を変える		75

コーディネーター：時任 宣博	(化学研究所長・教授)
ゲストパネリスト：矢原 徹一	(九州大学大学院理学研究院教授)
小林 清人	(読売新聞西部本社編集委員)
パネリスト：寶 馨	(防災研究所教授)
森 知也	(経済研究所教授)
カール・ベッカー	(こころの未来研究センター教授)

閉会挨拶	再生医科学研究所長・教授 坂口 志文	103
------	--------------------	-----

〔資料〕 案内チラシ

平成22年4月7日付け 読売新聞記事(大阪本社発行)
アンケート集計結果

京都大学 附置研究所・センターシンポジウム
京都からの提言
21世紀の日本を考える(第5回)
「グローバル社会に生きる ―未来を見据える日―」
報告書

発行日 2010年9月30日発行
編集・発行 京都大学宇治地区事務部内
京都大学「京都からの提言」事務局
住 所 〒611-0011 宇治市五ヶ庄
T E L 0774-38-3333
印刷所 (株)双林印刷社

京都大学 附置研究所・センターシンポジウム
「京都からの提言—21世紀の日本を考える」

第1回 平成18年3月16日(木) 10:00-17:30

東京・品川インターシティホール

サブテーマ:「危機をいかに乗り切るか?東アジアといかに向き合うか?」

第2回 平成19年3月17日(土) 10:00-17:00

大阪・エルおおさか(大阪府立労働センター)エル・シアター

サブテーマ:ノーベル物理学賞受賞者 「湯川・朝永両博士が拓いた世界」
～湯川・朝永両博士 生誕百年に因んで～

第3回 平成20年3月8日(土) 10:00-17:15

横浜・新都市ホール

サブテーマ:「人間と自然:新たな脅威と命を守るしくみ」

第4回 平成21年3月14日(土) 10:00-17:25

名古屋・名鉄ホール

サブテーマ:「学問のつながりのユニークさ:それがつくる明るい未来」



「新たな知の地平を拓く」
京都大学 附置研究所・センター
22 Research Institutes and Centers
Kyoto University

京都大学 附置研究所・センター

- 化学研究所
- 人文科学研究所
- 再生医科学研究所
- エネルギー理工学研究所
- 生存圏研究所
- 防災研究所
- 基礎物理学研究所
- ウイルス研究所
- 経済研究所
- 数理解析研究所
- 原子炉実験所
- 霊長類研究所
- 東南アジア研究所
- 学術情報メディアセンター
- 放射線生物研究センター
- 生態学研究センター
- 地域研究統合情報センター
- 産官学連携センター
- フィールド科学教育研究センター
- こころの未来研究センター
- 野生動物研究センター
- 物質－細胞統合システム拠点